

事業報告

平成26年度 公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日

平成3年4月6日

(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)

② 基本財産

2億2,020万円

③ 実施事業

内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝

観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供

観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興

国際交流、国際協力に関する多文化共生事業

国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数(平成27年3月31日現在)

会 長 1人

副 会 長 4人

専務理事 1人

常務理事 2人

理 事 25人

監 事 3人

(2) 理事・監事

① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成26年6月26日	理 事	一 柳 幸 男	辞 任
平成26年6月18日	理 事	桶 本 佳 一	辞 任
平成26年6月26日	理 事	関 根 徹	辞 任
平成26年6月26日	理 事	松 永 功	辞 任
平成26年6月27日	理 事	泉 名 宣 男	就 任
平成26年6月27日	理 事	大信田 尚 樹	就 任
平成26年6月27日	理 事	岡 安 博 文	就 任
平成26年6月27日	理 事	金 子 義 人	就 任
平成26年6月27日	理 事	佐 伯 鋼 兵	就 任
平成26年6月27日	理 事	菅 谷 賢 一 郎	就 任
平成26年6月27日	理 事	宮 崎 裕 雅	就 任

平成26年6月27日	理 事	山 口 宏 樹	就 任
平成26年12月15日	理 事	原 田 新 一	死 亡

② 平成27年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
会 長 (代表理事)	清 水 志摩子	平成25年6月24日
副 会 長 (代表理事)	本 田 秋 満	平成25年6月24日
副 会 長	佐 伯 鋼 兵	平成26年6月27日
副 会 長	島 頼 子	平成25年6月24日
副 会 長	村 田 春 文	平成25年6月24日
専務理事	矢 代 直 文	平成25年6月24日
常務理事	櫻 井 武	平成25年6月24日
常務理事	渋谷 恒	平成25年6月24日
理 事	相 川 博	平成25年6月24日
理 事	泉 名 宣 男	平成26年6月27日
理 事	岩 渕 均	平成25年6月24日
理 事	大信田 尚 樹	平成26年6月27日
理 事	岡 安 博 文	平成26年6月27日
理 事	金 子 義 人	平成26年6月27日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年6月24日
理 事	轡 田 隆 史	平成25年6月24日
理 事	國 谷 桂 子	平成25年6月24日
理 事	齊 藤 公 司	平成25年6月24日
理 事	菅 谷 賢一郎	平成26年6月27日
理 事	高 橋 三 男	平成25年6月24日
理 事	田 中 徹 夫	平成25年6月24日
理 事	田 中 洋 司	平成25年6月24日
理 事	筑 波 伸 夫	平成25年6月24日
理 事	富 永 庄 蔵	平成25年6月24日
理 事	橋 本 和 久	平成25年6月24日
理 事	服 部 圓	平成25年6月24日
理 事	濱 野 博 美	平成25年6月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年6月24日
理 事	日 野 俊 彦	平成25年6月24日
理 事	丸 弘	平成25年6月24日
理 事	宮 崎 裕 雅	平成26年6月27日
理 事	守 屋 二 郎	平成25年6月24日
理 事	山 口 宏 樹	平成26年6月27日
監 事	荒 井 伸 夫	平成25年6月24日
監 事	井 原 實	平成25年6月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年6月24日

3 会員数の状況

種 類	前年度末	当年度末	増 減	備 考
正会員	992	978	(△14)	
うち法人・団体会員	(824)	(805)	(△19)	法人・団体 入会22 退会41
うち個人会員	(168)	(173)	(5)	個人 入会12 退会7
賛助会員	312	305	(△ 7)	入会57 退会64

4 理事会及び総会の開催

(1)理事会

開催日時	議決事項等
平成26年6月10日 (第1回理事会)	(議題) 議案第1号 平成25年度 事業報告 議案第2号 平成25年度 決算報告 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 功労者表彰及び特別功労者表彰の選考について 議案第5号 平成26年度定時総会の日程について
平成26年6月27日 (第1回臨時理事会)	(議題) 議案第6号 副会長の互選について 議案第7号 顧問の選任について
平成27年3月27日 (第2回理事会)	(報告事項) 平成26年度事業執行状況について 諸規則の一部を改正する規則の会長専決事項について (議題) 議案第8号 平成27年度事業計画について 議案第9号 平成27年度収支予算について 議案第10号 給与規則の一部を改正する規則の制定について 議案第11号 スポーツイベント開催助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

(2)総会

開催日時	議決事項等
平成26年6月27日 (第1回定時総会)	(報告事項) 平成25年度事業報告 (議題) 議案第1号 平成25年度決算報告 議案第2号 理事の選任について

5 職員の状況

平成27年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	事務局長	副参与・センター長	主幹	主査	主任	主事	契約・臨時	合計
事務総括	1							1
総務担当			1	2		2	1	6
観光事業担当		1		4	1	4		10
コンベンション事業担当		1		1		1		3
広報宣伝事業担当		(1)	(1)		1	1		2
スポーツコミッション事業担当		1		2		1		4
国際交流センター		(1)	1		1		5	7
合 計	1	3	2	9	3	9	6	33

※広報宣伝事業担当副参与はコンベンション事業担当副参与の兼務、広報宣伝事業担当主幹は総務担当主幹の兼務
国際交流センター長は常務理事の事務取扱

6 事業の実施状況等

事業の実施状況

【公益目的事業】

(1) 観光等振興事業(公益目的事業1)

■観光事業

①観光振興事業

地域観光振興事業・団体等への助成・支援

大正時代まつり・さいたま太鼓エキスパート・与野七福神めぐり・人形のまち岩槻まちかど雛めぐり・人形のまち岩槻流しびな等

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

J R 東日本・さいたま市・川越市合同観光PRキャラバン(1月15日 [JR船橋駅]、16日 [JR水戸駅]、24日・31日 [JR川越駅])

北陸新幹線金沢開業を見据えた観光キャンペーン(2月24日・25日 [JR金沢駅])

花の名所の維持管理

観光ボランティア団体との連携

②推奨土産品認定事業

さいたま推奨土産品品評会の実施

平成27年・28年度の2年間、「さいたま推奨土産品」として推奨する土産品48点と、その中から特に優れている「金賞」土産品6点を選定した。(2月1日)

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

コラボさいたま2014(11月7日～9日)

さいたま市新年名刺交換会(1月5日)

③観光イベント事業

岩槻城址公園桜まつり(4月5日・6日 入込約35,000人)

さくら草まつり(4月19日・20日 入込約70,000人)

大宮薪能(5月23日・24日 入込約2,400人)

植木草花市(6月30日 入込約15,000人)

人形のまち岩槻朝顔市(7月6日 入込約5,000人)

浦和まつり前夜祭(7月11日 入込380人)

浦和まつり中山道会場 音楽パレード(7月13日 入込約40,000人)

浦和まつり中山道会場 浦和おどり・浦和おどりremix(7月13日 入込約80,000人)

与野夏祭り(7月19日・20日 入込約150,000人)

浦和まつり中山道会場 みこし渡御(7月20日 入込約130,000人)

さいたまるしえinさいたまクリテリウム(10月25日 入込約70,000人)

十日市(12月10日 入込約170,000人)

十二日まち(12月12日 入込約130,000人)

さいたまるしえ(3月28日・29日 入込約13,000人)

④観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

⑤事務局受託事業

ばらまつり(5月17日・18日 入込約160,000人)

大宮夏まつり前夜祭(7月18日 入込437人)

さいたま市花火大会 大和田公園会場(7月30日 入込約100,000人)

西口夏まつり(7月31日 入込約20,000人)

スパークカーニバル(8月1日 入込約220,000人)

中山道まつり(8月1日・2日 入込約260,000人)

さいたま市花火大会 東浦和 大間木公園会場(8月9日 入込約50,000人)

さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場(8月16日 入込約50,000人)

■コンベンション事業

①誘致支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動の推進

日本政府観光局(JNTO)などからの国際会議情報や、各主催者団体のホームページ等により、開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性が高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行った。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

さいたま市Walkerを43件、24,117部、観光マップを49件、26,857部、コンベンションビニールバックを31件、11,932部、コンベンション不織布バッグを3件、2,105部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実を図るとともに案内をわかりやすくし、主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当協会直接の販売所設置は行っていないが、コンベンション会場への埼玉県物産観光協会による土産品販売所の設置や土産品のPRを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供

コンベンション参加者ガイドの提供

「会議・コンベンション参加者便利帖」を作成、43件、26,882部提供した。

推奨コンベンション弁当の周知

支援パンフレット・HPや施設見学会等で主催者に周知を図った。

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充

本市ならではのユニークメニューとして、式典や懇親会が行える会場の発掘・拡充を行い、9月に埼玉スタジアム2002のスタンド・オーロラビジョン等を利用し、学会の懇親会を行った。

第8回世界盆栽大会(2017年)の推進

その他コンサルティング

②IME出展事業

国際ミーティング・エキスポ「IME2014」への出展

12月9日(火)・10日(水)、東京国際フォーラムにおいて、観光庁、日本政府観光局(JNTO)及び、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)主催の「第24回国際ミーティング・エキスポ(IME2014)」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者38名に対し、本市への開催誘致を図った。(全来場者数1,959名)

③施設見学会事業

コンベンション施設見学会(年1回)の開催

2月2日(月)、IME2014におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェン特等を対象とした施設見学会(ソニックシティ)を開催し、25団体41名の参加があった。その後、参加団体については通常セールス活動でフォローすることとしている。

ソニックシティ施設内覧会(年1回)への協力

7月7日(月)、ソニックシティ主催の施設内覧会へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

④情報収集事業

コンベンションデータ(顧客名簿・開催意向等)の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行えるよう管理・更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB、全国コンベンション運営事業者協議会の総会等及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。また、コンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対し随時協力した。

⑤経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

25年度における年間開催件数を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、年間経済波及効果報告書の基礎資料を作成した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実施を計数的に把握するため、26年度に開催された個別のコンベンション(4件)における経済波及効果を調査した。

⑥コンベンション開催助成金制度の実施

コンベンション開催助成金制度の実施

本市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、「コンベンション開催助成金」として、13件6,455,000円を助成した。さらに、本市観光の魅力発信強化を図るため、「アフターコンベンション開催助成金」として、1件200,000円を助成した。

■広報宣伝事業

①広報宣伝活動

観光情報誌「さいたま市Walker×Sai's(さいず)」の発行(年4回)(夏号37,000部、秋号42,000部、冬号32,000部、春号37,000部)

通年版観光情報誌(日英版)の発行(100,000部)

テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどのPR

スマートフォンアプリ開発等に関する協力

②インターネットによるシティセールス

ホームページ「web S@i's(うえぶさいず)」及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR

ツイッター「@SaitamaTIB」やFacebookページなどソーシャルネットワークを活用した、観光情報の発信

③大宮盆栽の普及啓発事業

JAPANブランド化事業「大宮盆栽」海外展開事業の推進

海外販路拡大に向けた取り組み(検疫対応、取引ルート確立等)

大宮盆栽ブランドのプロモーション(海外展示会出展等)、第8回世界盆栽大会(2017年)の推進

開催日	行事名	開催地
5月5日(月)	OECDフォーラム参加者向けレセプション	フランス・パリ
6月6日(金)～8日(日)	Monaco Bonsai Expo	モナコ
8月21日(木)～24日(日)	Bonsai Clubs International Convention 2014	オーストラリア・ゴールドコースト
2月14日(土)・15日(日)	Noelanders Trophy 2015	ベルギー・ヘンク
2月28日(土)～3月1日(日)	Crespi Bonsai Bonsai Club Expo Contest	イタリア・パラビアーゴ
3月14日(土)～22日(日)	OMIYA BONSAI in Paris	フランス・パリ

■スポーツコミッション事業

①スポーツイベント誘致支援等事業

スポーツイベント主催者への大会等誘致活動

本市開催の可能性が高い各種スポーツ競技団体等に対して誘致セールスを行うとともに、日本最大級のスポーツ・健康産業総合展示会「スポルテック2014スポーツイベントパビリオン」に出展した。

スポーツイベント主催者への大会等運営支援

開催会場の確保・調整、スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、大会の広報・PR、各種資料・情報提供、飲食物販売所の設置、行政機関への調整等、39大会に各種運営支援を行った。

インターネット及び各種広報媒体によるPR活動

ホームページによるSSCの支援メニュー及び市内スポーツ施設等の情報発信を行うとともに、支援イベントの集客プロモーション活動を行った。

SSCホームページアクセス数

訪問者数：71,771件、ページ閲覧数：149,773ページビュー

スポーツイベントによる経済波及効果調査

経済波及効果推計の基礎調査収集として17大会にアンケート調査を行った。

スポーツ関連情報収集活動

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)等に参画・連携を図り、各種スポーツイベント情報の収集及び情報交換を行った。

その他コンサルティング業務

②ウオーキングイベント開催事業

第3回さいたまマーチ ～見沼ツデーウオーク～

期 間：3月28日(土)～29日(日)

場 所：さいたま新都心から見沼田圃周辺

コース：2コース(見沼田圃北側、南側)

距 離：30km、20km、10km、5km

主 管：さいたまマーチ実行委員会

参加者：5,413人

③サイクルイベントの共催

2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム Presented by ベルーナ

期 日：10月25日(土)

会 場：さいたま新都心駅周辺

内 容：ポイントレース1(1周3.1km×8周)

ポイントレース2(1周3.1km×8周)

クリテリウムメインレース(1週3.1km×20周) 等

主 催：さいたま市

共 催：埼玉県、さいたまスポーツコミッション、公益社団法人さいたま観光国際協会、A.S.O.

来場者：103,000人

④スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、21件(総額13,700,000円)を助成した。

■観光案内所運営事業

①観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(JR浦和駅西口前)の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

(2) 多文化共生、国際相互理解促進事業(公益目的事業2)

■国際交流事業

①国際推進事業

多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語 火曜日(13件)、英語 水曜日(9件)、韓国・朝鮮語 木曜日(2件)

ボランティア(通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント)派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び国際交流イベント等へのイベントボランティアの募集と派遣を行った。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	391人 (24言語 延べ469人)	通訳28人 翻訳66人
ホストファミリー	241家庭	53家庭
イベントボランティア	登録者実数458人	435人

外国人への日本語支援事業

在住外国人のための日本語教室を毎週金曜日に国際交流センター(浦和コース)及び大宮区役所内(大宮コース)で開催。日本語習得の支援や行政・生活情報を提供した。

参加者総数：(学習者1,776人、要保育児197人、スタッフ等2,343人)

○教室別内訳

《浦和コース》3,016人(学習者1,192人、要保育児109人、スタッフ等1,715人)

午前保育付コース 1,388人(学習者433人、要保育児109人、スタッフ等846人)

子どもコース 525人(学習者278人、スタッフ等247人)

夜一般コース 1,103人(学習者481人、スタッフ等622人)

《大宮コース：午前保育付コース》

1,300人(学習者584人、要保育児88人、スタッフ等628人)

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供(多言語生活情報誌「ぷらら」の発行)

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)で発行した。(41号：5月、42号：7月、43号：9月、44号：12月、45号：3月、計10,804部発行)

国際友好フェア

市民及び市内在住外国人等による各種展示・発表等を行い、国際交流や異文化理解の推進につとめた。

日 程：5月3日(祝)、4日(祝)

会 場：市民の森・見沼グリーンセンター

参加団体：62団体(32ヶ国と1地域)

来場者数：約75,000人

外国人による日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、2月7日(土)に「私の好きな日本のことば」をテーマに市内在住、在勤、在学の外国人による「日本語スピーチ大会」を開催した。(会場：浦和コミュニティセンター 多目的ホール、発表者：9人、来場者：198人)

姉妹都市交流事業

26年度はスポーツ少年団派遣・受入事業として、アメリカ合衆国リッチモンド市へ野球少年団を、メキシコ合衆国トルーカ市へサッカー少年団をそれぞれ派遣した。

【野球少年団リッチモンド市派遣】

日 程：8月1日(金)～10日(日)

人 数：42人(選手32人、団長1人、代表1人、監督1人、コーチ3人、保健マネージャー1人、サポーター1人、保護者1人、OB1人)

宿 泊：ホームステイ7泊

【サッカー少年団トルーカ市派遣】

日 程：8月3日(日)～11日(月)

人 数：18人(選手13人、団長1人、監督1人、コーチ1人、サポーター1人、保護者1人)

宿 泊：ホームステイ5泊

国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に、各国の文化などを紹介し、異文化理解の推進を図った。

日 程：10月12日(日)

会 場：浦和駅東口駅前市民広場

参加団体：21団体(9ヶ国)

来場者数：約6,000人

②国際交流事業

国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種国際交流関係の情報を提供した。(8号：6月、9号：9月、10号：11月、11号：2月、各号2,500部発行)

ボランティア養成講座

国際交流センターに登録しているボランティアを対象に、国際交流・多文化共生について専門家から講義を受ける機会を提供する他、新規ボランティアの獲得につとめた。

日 程：12月6日(土)

場 所：国際交流センター 多目的室、ぷらっとサロン

参加人数：受講者22人

ユース国際ボランティア養成

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成事業として、8月26日(火)にフィジー共和国大使館とユニセフハウスへの訪問を実施した。また、2月15日(日)に文化体験「太巻き作り」を実施した。

次世代養成セミナー

学生による国際交流体験などの発表や意見交換を通じて、異文化理解と国際化に向けた人材育成を目的として11月22日(土)に「海外を夢見るあなたへ」をテーマにセミナーを開催。(参加者：24人)

日本語ボランティア養成講座(初級)

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座を開催。

日 程：6月3日(火)～7月3日(木)計10回

場 所：国際交流センター 多目的室

参加人数：30人

日本語国際センター研修生との交流

日本語国際センターの研修生と会員との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として、国際交流基金日本語国際センターを会場に、交流会を10月7日(火)(参加者：189人)と2月12日(木)(参加者：122人)の2回実施した。

国際交流サロン交流会(はじめましての会)

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的として、4月19日(土)(参加者:104人)と10月18日(土)(参加者:99人)に浦和コミュニティセンターで2回開催した。

国際交流サロン交流会(着付体験・交流会)

日本文化体験として外国人市民を対象に着物の着付け体験会を1月4日(日)に氷川の杜文化館を会場に実施した。着物の種類や用途を学びつつ、日本文化に対する理解を深めると同時に地域住民と交流を図り国際交流を促進した。(参加者:46人)

ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に、半日のホームステイとしてホームビジットを6月7日(土)(留学生22人)と、11月8日(土)(留学生23人)を実施した。

異文化交流のための語学講座

多言語を学ぶとともに、姉妹友好都市への理解を深めるために、前期3言語、後期3言語による講座を実施した。

〈前期受講者数〉英語 12人、スペイン語 9人、フランス語 15人

〈後期受講者数〉英語 36人、韓国語 12人、ドイツ語 18人

サロン企画事業(ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン)

国際交流サロンスペース(ぶらっとサロン)を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座などを実施。

●ミニ講座 11回開催(参加者合計:495人)

●おしゃべりサロン(英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語)

参加者:1,870人

外国人市民への子育て支援

市内在住外国人の子育て支援のため、小児科の専門医が医療に関する相談と情報交換を年3回(6月11日、11月2日、3月1日)に渡り開催。

姉妹友好都市交流支援

ボランティアにより姉妹都市交流分科会勉強会の他、蕨市国際交流協会の役員を招いて、蕨市の姉妹都市であるアメリカ・エルドラド郡とドイツ・リンデン市との活動内容や今後交流事業にどのような展望があるか等を伺った。

コムナーレ各施設との連携事業

2月28日(土)・3月1日(日)に「コムナーレフェスティバル」が開催され、本センター内で「プロアングラ、ネパールを語る」と題したミニ講座と「ドクター許の笑顔で子育て&親子体操」の2つのイベントを行った他、ユース国際ボランティアによる「日本の昔あそび体験」を実施した。

③国際協力事業

さいたま市国際NGOネットワーク等、国際協力団体との連携事業

さいたま市国際NGOネットワークと共催で、2月21日(土)に「わくわく国際フェスタ」(会場:浦和コミュニティセンター)を開催。アーサー・百合氏(在日米国大使館商務部上席商務官)を招き、「留学が私にもたらしたもの」をテーマに講演会の他、留学生とのパネルディスカッションを実施した。(来場者数:80人)

【収益事業等】

(1) 物品販売事業

① 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ売上 607,816円

② その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務

販売手数料収入 3,637,046円

(2) その他

① 情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会及び国際会議観光都市連絡協議会への参加による情報交換

② 会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新年賀詞交歓会を2月4日に開催した

③ 経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討